

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2169	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	企画財政部・企画課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成29年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.19人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,104千円 (うち人件費 1,672千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	43101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民や子どもたちの国際性を育むため、国際性豊かなイベントや地域での体験イベント、国際交流団体などが実施する講座、展示会などにより、外国の文化や習慣など、国際理解を深めるための情報を提供します。			事業目的	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、事前キャンプ誘致をはじめとした外国人の受入れ環境の整備を行い、大会期間中に来市する国内外からの大会関係者や選手、観客をサポートできるよう、都市ボランティア意識の向上を図りながら、市民の障害者に対する理解や国際理解を図る。								
(3) 事業内容	内容	・我孫子市を含む千葉県内の被災地を聖火リレーのルートとするよう要望活動の実施 ・オリンピック・パラリンピックに向けた関連情報の収集・発信と市民の参加意識の醸成 ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組について、庁内関係課や関連団体との調整を図る			当該年度執行計画	・事前キャンプ誘致への取り組み(通年) ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた庁内関係課や関連団体との調整(通年) ・聖火リレーへの対応(ルートは2019年夏に組織委員会が発表する。ルートに選定された場合は、県等と連携して準備を進める)								
		当該年度活動結果指標	東京2020大会に関する庁内調整会議		単位	回	想定値	1						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況	%	0	40					
令和2年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況	%		100					
令和3年度					間接		%		0					
(7) 事業実施上の課題と対応	それぞれの取組については、市教育委員会(文化・スポーツ課)と情報共有しながら、千葉県や千葉県スポーツコンシェルジュとの連携をより密にしていける必要がある。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		■第16回世界女子ソフトボール ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレー招致に向けた要望 2号嘱託職員(2,607千円×0.27)	0	0	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレールート正式発表の内容に基づく対応 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432	0	0	0	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ・聖火リレーの実施 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432	0	0	0
		予算(決算)額	合計	700	合計	432	合計	432	合計	0				
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	0	0
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	0	0		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	0	0		
一般財源		700		432		432		432		0	0	0		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0		
換算人数(人)		0.17		0.19		0.3		0		0	0	0		
正職員人件費		1,496		1,672		2,640		0		0	0	0		
嘱託職員報酬額		700		432		432		0		0	0	0		
臨時職員賃金		0		0		0		0		0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,196		2,104		3,072		0		0	0	0		
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)		2,196千円/回		2,104千円/回										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	2020(平成32)年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。オリンピック聖火リレーを通じて、布佐地区の復興をアピールし、地域に元気をもたらすため、聖火リレーの招致に向けた取り組みが必要であるため。また、オリンピック・パラリンピックに向けて努力を続けているスポーツ選手と小中学生との交流機会を設けるため、事前キャンプ受け入れ等の取り組みが必要であるため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		事前キャンプの実施や、聖火リレーが我孫子を通ることが決まった場合、市民から募集したスポーツボランティア等の参画を検討している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	40	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	2,104	92	<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	1.9		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2235), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向